

令和6年度第3回湯沢町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時	令和7年3月24日（月）13:30～
場所	湯沢町役場3階 大会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・議題1 地域移動環境計画に基づく各種施策の推進状況について ・議題2 地域移動環境計画の一部改訂及び利便増進計画（案）について 3. その他
出席者	<p style="text-align: center;">所属・役職・氏名（敬称略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯沢町長 田村 正幸 ・湯沢町子育て教育部教育課 部長兼課長 南雲 剛 （代理）教育課 星井志月 ・湯沢町 子育て教育部 子育て支援課長 田村 美和子 （代理）子育て支援係長 原沢大輔 ・新潟県 南魚沼地域振興局 地域振興監 太田 正之 ・東日本旅客鉄道株式会社 越後湯沢駅長 中島 宏明 （代理）副長 今井博昭 ・北越急行株式会社運輸部 部長 桑原 信之 ・南越後観光バス株式会社 取締役乗合部長 川上 洋一 （代理）乗合バス課長 関正太 ・湯沢町タクシー協会（ゆざわ魚沼タクシー(株) 営業部長) 深井 静男 ・新潟県 南魚沼地域振興局 地域整備部 計画調整課長 新保 良勝 ・湯沢町 地域整備部 建設課長 田村 康大 ・国土交通省 北陸地方整備局 交通政策部 交通企画課長 新倉 孝礼 （代理）課長補佐 渡邊徳之 ・大字三国代表町内会長 綿貫 富雄 ・大字神立代表町内会長 笛田 道夫 ・大字湯沢代表町内会長 林 英治 ・南魚沼警察署 交通課長 近藤 芳靖 ・南越後観光バス株式会社 労働組合執行委員長 庭野 光正 ・社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会事務局次長 角谷 洋 ・湯沢町商工会 事務局長 児玉 幸一 ・一般社団法人 雪国観光圏 専務理事 杉山 光洋
欠席者	<p>（欠席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯沢町 健康福祉部 福祉介護課長 南雲 重幸 ・株式会社エンゼル観光代表取締役 倉片 文男 ・国立大学法人長岡技術科学大学 都市交通研究室 教授 佐野 可寸志 ・国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所 計画課長 水口 直人 ・国土交通省 北陸地方整備局 新潟運輸局 主席運輸企画専門官 塩原 隆太郎 ・大字三俣代表町内会長 高橋 和男 ・大字土樽代表町内会長 南雲 和幸 ・東日本高速道路株式会社新潟支社湯沢管理事務所 副所長 阿部 公博 ・新潟県 交通政策局 交通政策課長 高橋 徹臣 ・一般社団法人湯沢町観光まちづくり機構代表理事 岡 淳朗

内容	
(1. あいさつ)	
事務局	<p>ただ今から令和6年度第3回湯沢町地域公共交通活性化協議会を開催いたします。本日の協議会については、過半数以上の出席をいただいていることから、規約に基づき会議が成立していることを報告します。</p> <p>本会議は規約により原則公開で行うこととしておりますが、議事の内容によっては非公開とすることもできます。事務局といたしましては本日の内容は公開して差し支えないと考えておりますが、本日は公開でよろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
事務局	<p>それでは、本日の会議は公開とさせていただきます。本日は傍聴者2名が傍聴されます。それでは会長の田村よりご挨拶を申し上げます。</p>
田村会長	(あいさつ)
(2. 議事)	
事務局	<p>次第2、議事以降は、協議会規約に基づきまして会長から進行いただきます。</p>
(議題1 地域移動環境計画に基づく各種施策の推進状況について)	
田村会長	<p>議題1 地域移動環境計画に基づく各種施策の推進状況について、事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>以下の資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 地域移動環境計画に基づく各種施策の進捗状況について ・別紙【土樽線】運行ルート・時刻表・運賃（ダイヤ改正：R7.4.1） ・（参考）冬季間の路線バス夜間増便運行実績 ・（参考）日本版ライドシェア申出書 ・（参考）日本版ライドシェア開始プレスリリース
田村会長	<p>今ほど、事務局から説明のありました議題1 地域移動環境計画に基づく各種施策の推進状況について、ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
深井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日本版ライドシェアについて、3人一般ドライバーが確保できる見込み。 ・日本版ライドシェアへのアプリ（GO）の導入は4月中旬くらいからになる見込み。
林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日本版ライドシェアの車両は一般車両ということだが、そうすると東口駅前広場は利用できないということでしょうか。
深井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東口駅前広場を利用しています。JRさんにも協力してもらっている。
杉山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日本版ライドシェアの支払い方法はどのようなやり方ですか。
深井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリに対応したキャッシュレス決済になりますが、アプリが導入できていない現状では現金決済も対応しています。
田村会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にないようでしたら、議題1について承認して良いか。
委員	(異議なし)
	<ul style="list-style-type: none"> ・議題1について承認された。

(議題2 地域移動環境計画の一部改訂及び利便増進計画(案)について)	
田村会長	議題2 地域移動環境計画の一部改訂及び利便増進計画(案)について、事務局から説明願います。
事務局	以下の資料に基づき説明 <ul style="list-style-type: none"> ・資料2 地域移動環境計画の改訂(改訂ページのみ抜粋) ・資料3 湯沢町地域公共交通利便増進実施計画(案)
田村会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今ほど、事務局から説明のありました議題2 地域移動環境計画の一部改訂及び利便増進計画(案)について、ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。
田村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・利便増進計画(案)のP15 施策2-2 駅の乗り場環境整備には「東口のバス渋滞を緩和するためハード整備を実施する。」と記載してあるが、P26には「検討する」という表現になっており矛盾しているようだがどういったことか。また、どのくらいの規模感なのか。 ・所管している建設課としては、路線バスなどの運行に支障がないようにすることが優先であり、スキー場のシャトルバスの運行のために税金を投入してよいのかという懸念もある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・表現が矛盾している点については「検討」という表記に揃えます。 ・スキー場シャトルバスのために税金を投じていいのかということに関しては、冬の観光というのは、町の主産業であり、その産業の継続や発展にとって必要があるということになれば、町全体のこととして捉えて、今後内部で整理を進めていく必要があると考えています。その中では路線バスの影響も当然ないように内部で検討していきたいと考えています。 ・規模感としても、かなりの大きな金額のかかる事業になると見込んでいますが、町単独予算でなく、国からの補助などを入れてできるように検討したいと考えています。
田村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P6の計画終期は令和10年3月の誤りかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおりであり、修正します。なお、終期は、地域移動環境計画の期間と同じとしています。 ・また、利便増進計画の始期については、計画案では令和7年4月としていますが、この計画が国から認定されてから開始ということになるので若干ずれる可能性があることを補足させていただきます。
林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・町内全域でのゾーン運賃の導入について、計画期間3年間できるものでしょうか。できるだけ早期に実行してほしいと思う。
綿貫委員	<ul style="list-style-type: none"> ・苗場線のゾーン運賃の設定について、ゾーンをまたぐたびに倍になっていくような想定もされるが、一般的には距離が伸びていくと割安になっていくと思う。サービスは変わらないで運賃だけ値上げしていくことになるのはいかがかと思う。ゾーンをまたぐたびに料金が倍になっていくという点は検討していただきたい。 ・また、今シーズンは、バスに乗り切れなくて次の便を待つように残された人がいた。何年か前は増便ができたいたと思う。利用者が乗車しきれないという状況は観光地としてどうかということを感じている。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苗場線に限らず、この辺りのエリアは、現在の運賃が全国の中でも最低の水準であり、安すぎている状況です。この水準のままでは運行事業者の収支も改善されず、ドライバーの確保も困難になり、増便や既存の路線維持すらままならなくなってしまう可能性もある状況です。適正な運賃水準にすることで、この課題を解消し、ドライバーの確保、路線の維持・拡充ということを目指していきたいという考えであります。 ・ また、普段バスを利用されている町民の方たちへは、補助をしていきたいと考えています。
川上委員 (代理関氏)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今シーズンの苗場線のお客さんは大変多くいらっしゃり、バスに乗り切れない状況もありました。増便が難しい要因としては、ドライバーや車両が不足していることにあります。 ・ 不足するドライバーの確保のためには処遇改善をしていくということも必要であると思いますが、現状は赤字で運行している路線であるので、そこに至らない状況です。運賃改善をすることでその点を改善していきたいという考えがあります。 ・ また、現状、運賃が10円単位という点が利用者の方にとっても、利便性が悪いのではないかと感じています。キャッシュレス決済の導入も検討ですが、運賃がわかりやすくすることで、利用者の利便性を向上させていきたいとも考えています。
新倉委員 (代理渡辺氏)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利便増進計画については、国の認定になって完成ということになります。運輸局としても、アドバイスなどをしながら進めていきたいと考えています。
田村会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の利便性を高めることは、町の産業維持や町民生活にとって極めて必要なことであると感じています。 ・ どうしたら利便性を向上させていくことができるかというなどを意見いただくのが、この協議会の役割でもあるかと思しますので、皆様からご協力をいただきたいと思います。
田村会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他に意見がないようでしたら、議題2について承認して良いか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ (異議なし)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題2について承認された。
(3. その他)	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第の3その他ですが、事務局では、特に用意しておりません。委員の皆様から何かございますでしょうか。
庭野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は大雪で消雪パイプが機能していないところがあって、東口駅前広場は雪が山になっていた。苗場プリンスホテルシャトルの位置(6番線)や、その隣の一般バスの停車スペースがあるが止められない状況だった。 ・ そんな状況の中で、各スキー場のシャトルバスが入ってくると動けなくなるので、タクシー待機所の方までもバスの走行で利用させていただいていた時があった。ご迷惑をかけた。 ・ また、今年は苗場プリンスホテルシャトルが多かったが、他スキー場のシャトルバス(5番線)の待機列を横切ってくるケースが多く、プリンス

	<p>ホテルのスタッフも多くはいないので対応が困難な状況だったと思うし、タクシーの前を横切るので非常に危ないと感じた。タクシー待機所のスペースが空いているのが横切ってしまう要因になっているのかとも思うので、タクシーの待機所にガードパイプなどを設置するのもいいかと感じた。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 東口駅前広場の課題認識としては、町としても同じですので課題解決に向けて考えていきたいと思います。
杉山委員	<ul style="list-style-type: none"> 冬季に国道17線を歩いている人がいるが非常に危ないと感じている。夜間は特に危ない。ガーラ湯沢や石打丸山へ向かう方なのかと思うが、今後考えていかないと事故が起こると思う。
林委員	<ul style="list-style-type: none"> 民泊が多くなったこともあり国道を歩いている人が多くいる様子。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ガーラ湯沢や石打丸山方面だと、路線バスは六日町線や森宮野原線になるが遅い時間だと便がない。 日本版ライドシェアの導入は、そういった課題解決の一つになるのではないかと思う。皆様のお知り合いの方などでドライバーができるという方がいれば、是非、運行事業者へ問い合わせさせていただくようにお伝えいただくとありがたいです。
深井委員	<ul style="list-style-type: none"> 日本版ライドシェアは自家用車で大丈夫だが、自家用車は出たくないという方も中にはいます。なので、日本版ライドシェア用の車両も調達予定です。 ドライバーには一定の研修期間もあります。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 他に何も無いようでしたら以上を持ちまして、令和6年度第3回湯沢町地域公共交通活性化協議会の会議を終了させていただきます。 本日は、お忙しいところ大変ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。